

科目名 Subject	カウンセリング Counselling		教員名	五十嵐 靖博	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1単位
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30時間
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーションカ
	◎	◎	○	○	○
科目の概要	<p>エステティックサロンを訪れる顧客は、単に美しくなることだけでなく、リラクゼーションによって心も身体も癒されることを求めている。そのためにはまず顧客の要望をていねいに傾聴することが必要である。本科目では、本学が目指すホスピタリティの精神を前提として、カウンセリングの基本的な考え方と技法を習得し、こうした顧客のニーズに応えられるエステティシャンを養成することを目的としている。</p>				
授業の目標	<p>カウンセリングの理論と技法を学び、コミュニケーションやホスピタリティを実践的に展開できるようになる。そのためにカウンセリングの理論と技法を基礎から系統的に習得し、それらを用いて顧客とよりよいコミュニケーションを行うことができ、十全にニーズをくみ取る力を習得し、実践できる。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>カウンセリングの理論と技法を学び、コミュニケーションやホスピタリティを実践的に展開できるようになる。そのためにカウンセリングの理論と技法を基礎から系統的に習得し、それらを用いて顧客とよりよいコミュニケーションを行うことができ、十全にニーズをくみ取る力を習得し、実践できる。</p>				
教科書・教材	教科書	「ビューティプロフェSSIONALのためのカウンセリング」(ナカニシヤ出版)			
	教材	適宜、資料を配布する。			
	使用設備・備品	ビデオなどの視聴覚教材を使用する。			
	参考文献	日本エステティック協会テキスト。			
評価方法	次の3点を総合的に評価する。平常点20%、ワーク20%、試験 60%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	授業内容は難しくはないが、積極的に受講しワークに取り組む姿勢が重要である。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション： エステティックとカウンセリング	カウンセリングとエステティック・ カウンセラーの役割を説明できる。	授業前にエステティックとカウンセリングの 関係を考える。授業後にそれを 自分で説明する
第2回	心のメカニズムと顧客のニーズ	心のメカニズムと顧客のニーズを知 る方法を説明できる。	予め自分の心観をふり返る。授業後に 心理学的カウンセリングの効果をも 自分で説明する
第3回	「傾聴」と「かかわり行動」	聴き方の基本について説明できる。	予習としてテキストの傾聴の項を読 む。授業後に傾聴の事例を考える
第4回	応答技法	応答技法とは何か、説明できる。	予習として生活の中の応答の例を考 える。授業後にそれをカウンセリング理 論を用いて説明する
第5回	カウンセリングの流れ	カウンセリングの過程の各段階を説 明できる。	予習として教科書のカウンセリング過 程の項を読む。授業後にその終結ま での過程を整理する
第6回	カウンセリングの技法：マイクロカ ウンセリングの考え方	カウンセリングの様々な技法につ いて説明できる。	予習としてカウンセリングの諸技法に ついて調べる。授業後に諸技法をも 自分の言葉で説明する
第7回	エステティシャン試験用問題演習： 概要について	エステティシャン試験の概要を説明 できる。	予習として試験の実施要領を調べる。 授業後に試験の概要をまとめる
第8回	エステティシャン試験用問題演習： 留意点について	エステティシャン試験に合格するた めに必要なポイントを説明できる。	予習として得意分野と苦手分野を調 べる。授業後に苦手分野を補強する
第9回	「かかわり行動」に関する演習	「かかわり行動」について体験しそ の意義を説明できる。	予め生活におけるかかわり行動を調 べる。授業後にそれをカウンセリング理 論によって説明する
第10回	「質問技法」の理解と演習	「質問技法」を自分で試行できる。	予習として2つの質問技法を調べる。授 業後に実際にそれを用いて質問を作成 する
第11回	「応答技法」に関する演習	「応答技法」を習得し適用できる。	予習として応答技法とは何か調べる。 復習として紙上ワークを行う
第12回	ロールプレイング	応答を実際に体験し、その意義を説 明できる。	予め教科書の当該の節を読んで理解す る。授業後に職業場面でのやり取りを この仕方でも説明する
第13回	交流分析：エゴグラム	自己および他者についてエゴグラム を用いて説明できる。	授業前に交流分析について調べる。授 業後に身近な人に適用して考える
第14回	アサーショントレーニング	望ましい自己表現とは何か、説明で きる。	予めアサーションについて調べ理解す る。授業後に自分で試行する
第15回	カウンセリングと美齢学	学んだ内容を総合的に理解し、美齢 学へと展開できる。	授業前に美齢学について調べる。授業 後にカウンセリングと美齢学の関係も 自分で説明する